

朝日の山並み

5月の10連休明けから、子どもたちの元気な声と共に木々の緑もどんどん色濃くなり、朝少の森にもたくさんの生き物が姿を見せてくれています。今年度も企画事業が始まり、4月27日(土)に「段ボールオープンでピザ作り」、5月18日(土)～19日(日)に「プラネタリウム一般公開」、6月1日(土)～2日(日)には「初夏キャンプとブナの森探検」を実施しました。いよいよキャンプシーズン本番!!親子で参加できるイベントもたくさん企画しています。キャンプが初めての方も、手軽に参加いただける内容となっていますので、チラシやホームページを是非ご覧ください。

初夏キャンプとブナ森探検

今年の初夏キャンプには、県内外から32名の参加があり、たくさんの友情の輪が広がりました。初日は、テント設営、野外炊飯、キャンプファイヤー、星空観察。2日目は、月山ネイチャーセンターで残雪の上を歩き、神秘的な自然の魅力を堪能。この2日間で一番の感動のシーンとなりました。ブナの森は、涼しい上に、緑が目優しく、澄んだ気持ちにさせてくれました。



子どもたちは「自然って不思議がいっぱいなんだと思った。」「冬に行われるブナ森キャンプにも行きたい。」と目を輝かせながら感想を語ってくれました。

段ボールオープンでピザ作り

今年度、最初の企画事業には100名を超える申し込みがありました。当日は、ピザの生地作りから始まりました。その後は、段ボールオープンを作るため、親子や参加した友達同士で、協力し、アルミホイルや両面テープを使い、ピザを同時に2枚焼けるオープンが完成しました。その後、具材を盛り付けてオープンの中に。待つこと8分間、ふっくらしたピザが焼きあがりました。参加した子どもたちは、大喜びでした。



45年前から輝く星空を眺め

朝日少年自然の家が開所したのが45年前。本館と一緒にプラネタリウムが完成しました。当時、最新式だった光学式投影機ですが、現在主流となっているのはデジタル式と光学式のハイブリッド型です。古い投影機でも、光源をハロゲン球からLEDに換え、現役で活躍しているところも全国的に多くなっています。

当所のプラネタリウムは、開所時から変わらず、やわらかく温かい光の星空を映し続けています。(ハロゲン球は生産が終了し、当所では全国から在庫分を取り寄せ確保しています。それが無くなれば・・・、45年前の投影機を見るだけでも価値があると思います。)

さて、5月18日(土)・19日(日)の両日に「春夏の星空さんぽ」と題して、プラネタリウムの一般公開を行いました。PRO WINDメンバーによるクラリネットとフルートのアンサンブル、アナウンサーによるナレーションは好評を博し、両日で150名の参加者がありました。多数の参加者から、プラネタリウムと音楽のコラボレーションが素晴らしく癒しの時間になり、リラックスできたという声をいただきました。私も鑑賞しましたが、ゆったりとして心洗われる一時を子どもだけでなく、大人の方にもぜひ味わってほしいと思いました。特に、星の学習を行う普段忙しい教員にはお勧めします。

今回は「秋冬の星空めぐり」で、11月23日(土)・24日(日)の開催になります。45年前から続く星空をご鑑賞ください。

(所長 板垣恵一)

プラネタリウム一般公開

昨年に引き続き、クラリネット奏者の渋谷啓子さん、フルート奏者の久光奈桜美さんを迎え、生演奏とともに星座を楽しみました。フリーアナウンサーの早坂真紀子さんのナレーションで、参加者からは大変満足との声がたくさん寄せられました。

今回の特集では、はやぶさ2の小惑星リュウグウへの到着をテーマにした5分間の感動映像が公開され、驚きの声は何度も聞かれました。また、今年、初お目見えの「お星さまハヤシライス」が上映前に提供され、希望された参加者に好評でした。

発行
山形県朝日少年自然の家
電話
0237(62)4125
Fax (62)4126
ホームページ
山形県朝日少年自然の家
で一発検索



今後のイベントのご案内

朝日わくわく広場③「親子キャンプ～読育の巻～」

☆7月6日(土)～7日(日) 1泊2日

対象…幼児～小学2年・その保護者(先着16家族)



朝日わくわく広場④「カヌー体験 in 月山湖」

☆7月15日(月) 海の日

対象…小学4年～中学生
(先着20名)



両事業とも募集開始から数時間でキャンセル待ちになる人気ぶりでした。そうした状況を踏まえ、次回の「チャレンジキャンプ」や「親子キャンプ～火の木の巻～」からは、応募期間内に申込みのあった方から「抽選」で参加者を決定することになりました。今後とも、朝少わくわく広場の企画をよろしく願います。